

「肥後の水資源愛護賞」受賞



10月17日メルパルクホールで、第17回「肥後の水資源愛護賞」の表彰式が開かれ、阿蘇町ほたるの会他十団体と共に、我が甲佐町商工会女性部もその名誉ある賞をいただきました。

この賞は、「くまもの日本一の地下水を子どもや孫に残そう」という「水」への深い思い入れと、永年お世話になった故郷に少しでも役に立ちたいとの一念から、肥後銀と熊本日日新聞社とが始めた「肥後の水資源愛護賞」運動ですが、生活排水でよれた川をきれいにしようという思いで16年間続けてきた廃油石鹸づくりが今回高く評価されての受賞で、部員の皆様の努力と協力の賜と心より嬉しく思います。

今回、私達、平成15年度「商工会女性部」正副部長がこの栄えある表彰台に立たせていただきました。これからは環境づくりの一環として守り続けながら後世に受け継いでいきたいと思っています。



消費税円滑化
対策事業

消費税講習会開催



本年度の消費税法の改正に伴い、商工会において11月12日(水)と25日(火)に分かれ消費税の講習会が行われた。

今回の改正により、全体の八割以上の事業所が消費税の課税対象になると言われており、新たに申告も必要になる。また、所得に関係なく課税されるため、受講者の姿勢も真剣そのもの。講習会では様々な質問も飛び交い関心の高さが現れた。

受講者は2日間を通して32名で、講師は当会青色申告会でも馴染みの荒木勇二税理士。税法は内容が複雑で難しいが、荒木税理士のユーモアあふれる講義で受講者を飽きさせず、3時間の長丁場も盛会のうちに終了した。また、「節税のテクニック」や「落とし穴」など関心の高い部分についても詳しく説明があり、受講者からもよい反応を得ることができた。

なお、今回の改正内容は次のとおりである。

1. 事業者免税点の引き下げ(3,000万円→1,000万円)
2. 簡易課税制度の適用上限の引き下げ(2億円→5,000万円)
3. 総額表示の義務付け(H16.4.1から適用)etc.

甲佐町 商工会だより

発行所 甲佐町商工会
責任者 田中武敏
印刷 (有)スタアテック
熊本市白山1丁目5-12
TEL.096-372-6336
会員数 310名

時間が輝くまちづくり

天領日田 県外視察研修レポート

計画の中には、各地域の特性を生かした性格の異なる地区別ゾーンの確立と強化、又は日常生活及び観光の拠点となるシンボル事業を始め、中小小売商業高度化事業等が計画に基づき展開し、更には大型企業(サッポロビール)の誘致が町の活性化に拍車をかけ、活き活きとした住民の暮らしを支えている。

今、「天領日田：時間(とき)が輝くまちづくり」は着実に進み、日田市まるごとブランド化、四季を感じる街並みづくりは近い将来、確実に実現するものと思われまふ。

研修を終えて感じたことは、甲佐町も地域住民一人一人が、もっと真剣に町の発展のことを考え、大きなうねりを起こし、提案し、官民一体となった「まちづくり」を進めることが重要ではないでしょうか。

去る、九月十二日、十三日の二日間わたり商工会役員十七名で大分県日田市に於いて、市街地活性化並びに町づくりについての視察研修を実施致しました。

十二日午後三時過ぎからの研修は、用意された研修資料に基づき日田市の町づくりについて、商工会議所 佐々木専務様より詳しく説明がなされました。

印象的なことは、前年の長崎県東彼杵町の研修でもそうであったように、行政、議会、商工会、地域住民が一つの目的の為に、一体となって協力していることでもあります。大分県日田市は人口六万人、規模は異なるけど日田市と甲佐町は幾つか類似点がありました。それは「豊かな歴史資源」、「水郷の原風景」、「緑豊かな山々」、「伝統の祭」等々であり、日田市はこの豊かな資源を引き出し、町づくりの為に、何よりも地域住民の合意を得て官民一体となり、長期的(十年)な基本計画案を策定(平成九年)し、それを確実に実行に移していることでもあります。



②日田市豆田町の町並み



①町づくりについての研修

青年部 県外研修



十月の四、五日にかけて、他町村の祭を勉強しようという目的で、宮崎県の国富町へ行き「国富町民祭」を視察してきました。雰囲気としては、甲佐町の産業文化祭に似ていますが、祭は大変賑わっており町民全員が盛り上がりつつある感じがしました。屋外では商工会とJAによる物産展、車や農機具の展示会、ステージでは太鼓やバンド演奏、中学生の吹奏楽、保育園児の遊戯、また、体育館では著名人の後援会、生け花など様々なイベントが二日間に渡り行われていました。町の規模は、甲佐町とさほど変わらないのに、その違いには大変驚かされました。その他にも地元青年部の活動も視察することができて、今後の祭に取り込むに当たり、大変有意義な研修となりました。

第十八回 産業文化祭 開催される



大抽選会1万分の2特賞のお二人



女性部のおでん、唐揚げは売り切れ大盛況



青年部によるフワフワトランポリン



目玉商品のマヨネーズ定価でこうだったらな〜



餅なげ 1200個の餅もあったという間に



甲佐高校のバザー

将来の甲佐町を担う若人頑張れ

本年の産業文化祭は、例年より2週間遅れの11月23日(日)に、商工祭と農業祭は鮎緑および鮎緑駐車場に於いて、また文化祭は中央公民館にて開催されました。

当日は、雲一つ無い見事な晴天に恵まれ、何時もこのように人が集まればと思うほど活気に満ちた1日でした。

【商工祭出店風景】

